

受験番号

賢明女子学院中学校

合計

/ 100 点

2 0 2 6 年度 A 日程 算数 解答用紙

1

小計

/ 20 点

(1)	5	(2)	3.14	(3)	$\frac{31}{32}$
(4)	0.41	(5)	$\frac{14}{15}$		

2

小計

/ 20 点

(1)	2500	(2)	20 秒	(3)	7.2 g
(4)	190 円	(5)	6000 円		

3

小計

/ 12 点

(1)	7 cm ²	(2)	5 cm ²	(3)	25.74 cm ²
-----	-------------------	-----	-------------------	-----	-----------------------

4

小計

/ 12 点

(1)	2561 円	(2)	204 %	(3)	2029 年
-----	--------	-----	-------	-----	--------

5

小計

/ 12 点

(1)	長方形の周りの長さは、長方形の縦と横の長さの和の 2 倍になる。 よって、 $(48 + 160) \times 2 = 416$ (m) 答 416 m
(2)	桜の木の間かくは、長方形の土地の縦 48 m と横 160 m の最大公約数になる。 $48 = 2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 3$ $160 = 2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 5$ よって、 $2 \times 2 \times 2 \times 2 = 16$ (m) となる。 答 16 m
(3)	長方形の土地を 1 周して桜の木を植えるとき、木の本数と間かくの数が等しくなるので、(1)(2)の結果を用いて間かくの数は、 $416 \div 16 = 26$ 個 よって、桜の木の本数も、26 本となる。 答 26 本

6

小計

/ 12 点

(1)	上円の円周の長さを点 P の速さで割ればよいので、 $20 \times 3.14 \div 2 = 31.4$ (秒) 答 31.4 秒
(2)	BA = BC なので、同じ円上に点 P と点 Q を動かして考えてよく、ちょうど点 P と点 Q が重なるときが BP = BQ となるときである。 点 P と点 Q は同じ速さなので、点 Q が出発してから点 P に出会うまでに $(31.4 - 10) \div 2 = 10.7$ 秒かかる。よって、点 P が出発してから $10 + 10.7 = 20.7$ 秒後である。 答 20.7 秒
(3)	点 P が点 B につくのは、点 P が出発して $31.4 + 4 \div 2 = 33.4$ 秒後である。 点 Q は点 P の 10 秒遅れで点 B につく。そこから点 P が点 Q と出会うのは (2)と同様で 20.7 秒後である。よって、点 P が出発して $33.4 + 20.7 = 54.1$ 秒後に点 Q と出会う。 答 54.1 秒

7

小計

/ 12 点

(1)	9480 cm ³	(2)	173	(3)	36.5 cm
-----	----------------------	-----	-----	-----	---------